**〇〇〇（施設名）非常災害対策計画**

１　計画の適用施設名、所在地等

1. 施設名
2. 所在地
3. 電話番号
4. ＦＡＸ番号
5. メールアドレス（代表）

２　計画の目的

　　この計画は、次の非常災害における「○○○（施設名）」の利用者の円滑かつ迅速な避難の確保を図ることを目的とする。

1. 火災
2. 地震
3. 風水害（洪水・内水・高潮）
4. 土砂災害
5. 津波災害
6. 火山災害
7. その他災害による安全確保が必要な事項

３　計画の報告

　　次に該当する計画を作成または、必要に応じて見直し・修正したときは、遅滞なく当該計画を函館市長へ報告する。

　　また、火災に係る計画（消防計画）については、消防法施行規則第3条に基づき、消防署長へ届出を行う。

1. 風水害（洪水・内水・高潮）～水防法第15条の３第1項に基づく計画
2. 土砂災害～土砂災害防止法第８条の２に基づく計画
3. 津波災害～津波防災地域づくりに関する法律第71条第1項に基づく計画
4. 火山災害～活動火山対策特別措置法第８条に基づく計画

４　施設の立地条件

　（１）施設等の立地条件（施設へ影響のあるもの）

ア　地盤状況

イ　地形の特徴

ウ　活断層

エ　河川

オ　海岸

カ　崖や傾斜地

【位置関係図】

（２）周辺地区の過去の災害発生状況

（３）災害危険区域等の該当の有無

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 災害種類 | 災害危険区域等の種類 | 該当 | 区域等の名称 |
| 水害 | 洪水浸水想定区域 | ○ |  |
| 雨水出水浸水想定区域 |  |  |
| 高潮浸水想定区域 |  |  |
| 土砂災害 | 土砂災害警戒区域（特別警戒区域を含む） |  |  |
| 土砂災害  （土砂災害危険箇所） | 土石流危険渓流 |  |  |
| 地すべり危険箇所 |  |  |
| 急傾斜地崩壊危険箇所 |  |  |
| 土石流危険渓流に準ずる渓流 |  |  |
| 急傾斜地崩壊危険箇所に準ずる斜面 |  |  |
| 土砂災害  （山地災害危険地区） | 山腹崩壊危険地区 |  |  |
| 崩壊土砂流出危険地区 |  |  |
| 地すべり危険地区、 |  |  |
| 山地災害危険地区の準用地区 |  |  |
| 津波災害 | 津波災害警戒区域（特別警戒区域を含む） |  |  |
| 火山災害 | 火山災害警戒地域 |  |  |

**※あくまでも参考例です。各施設で検討の上、作成してください。**

（４）上記の立地条件から予測される災害の危険性

ア　○○○川の氾濫洪水

イ　○○○丘陵の崩壊による土砂災害

ウ　暴風による○○○海岸からの高潮浸水

エ　津波浸水

**※あくまでも参考例です。各施設で検討の上、作成してください。**

５　施設等の構造・設備

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 項目 | 場所・個数等 | 内容 | 状態確認年月日・改善策 |
| 構造・階層および  （改）築年月 | 西棟 | 鉄筋コンクリート3階建  Ｓ48築 | Ｈ28.10.01確認  Ｈ32全改築予定 |
| 東棟 | 同上  Ｈ22耐震化改修 |
| 耐震状況 | 西棟 | 耐震診断なし | Ｈ28.10.01確認 |
| 東棟 | 耐震構造　震度6強 |
| 階段および周辺状況 | 西棟1カ所 | － | Ｈ28.10.01確認  障害物なし |
| 東棟2カ所 | － |
| エレベーター  設置状況 | 西棟1カ所 | 5人用　　　　毎年点検 | Ｈ28.9.01定期点検済み  常時稼働 |
| 東棟1カ所 | ベッド移動可　毎年点検 |
| 非常口設置状況 | 西棟1カ所 | 通常施錠（手動解錠可） | Ｈ28.10.01  開閉確認、障害物なし |
| 東棟2カ所 | 通常施錠（手動解錠可） |
| 避難器具庫 | 東棟物品庫 | 通常施錠（鍵：事務室） | Ｈ28.10.01扉開閉確認 |
| 通報装置 | 事務室 | 消防直通装置および回転灯 | Ｈ28.10.01点検済 |
| 消火設備 | スプリンクラー | Ｈ22.10設置、毎年点検 | Ｈ28.10.01点検済 |
| 消火器各棟2個 | Ｈ26年製設置有効10年 | Ｈ28.10.01点検済 |
| 非常用資材保管庫 | 事務室横物品庫 | 通常施錠（鍵：事務室） | Ｈ28.10.01扉開閉確認 |
| 水道設備 | 東棟に上水元栓 |  | Ｈ28.10.01操作確認 |
| 暖房設備 | 東棟にボイラー室と灯油タンク | パネルヒーターによる集中暖房 | Ｈ28.10.01操作確認、元栓確認 |
| 冷房設備 | 各室エアコン | 電気冷房 | Ｈ28.6.01操作確認 |
| 電気設備 | 東棟に配電盤 | 北電から給電 | Ｈ28.10.01ブレーカー操作確認 |
| ガス設備 | 厨房 | 都市ガス配管 | Ｈ28.10.01操作確認、元栓確認 |

**※あくまでも参考例です。各施設で検討の上、作成してください。**

６　災害に関する情報の入手方法

　（１）函館市から発令される避難情報

|  |  |
| --- | --- |
| 発令情報 | 入手方法 |
| ・避難準備・高齢者等避難開始  ・避難勧告  ・避難指示（緊急） | ※以下の例に、具体的チャンネル、ウェブサイトや情報元を併せて記載。  防災行政無線（拡声器、戸別受信機）テレビ、ラジオ、インターネット（市のウェブサイト）、ANSINメール、ＳＮＳの受信、消防団、警察、自主防災組織や近隣住民等の声かけ（連絡体制）など |

　（２）気象警報など

|  |  |
| --- | --- |
| 発表情報 | 情報の入手先 |
| 台風情報 |  |
| 気象情報 |  |
| 記録的短時間大雨情報 |  |
| 警報級の可能性 |  |
| 大雨注意報 |  |
| 洪水注意報 |  |
| 大雨警報 |  |
| 洪水警報 |  |
| 大雨特別警報（土砂災害、浸水害） |  |
| 〇○川氾濫注意情報 |  |
| 〇○川氾濫警戒情報 |  |
| 〇○川氾濫危険情報 |  |
| 水位到達情報 |  |
| 土砂災害警戒情報 |  |
| 土砂災害警戒判定メッシュ情報 |  |
| 高潮注意報 |  |
| 高潮警報 |  |
| 高潮特別警報 |  |
| 津波注意報 |  |
| 津波警報 |  |
| 大津波警報（特別警報） |  |
| 大雪警報 |  |
| 暴風雪警報 |  |
| 暴風警報 |  |
| 噴火警報（火口周辺） |  |
| 噴火警報（居住地域） |  |

**※あくまでも参考例です。各施設で検討の上、作成してください。**

６　災害時の連絡先および通信手段の確認

　（１）職員間の連絡体制（名簿および連絡ルート）※職員へ配布のほか、〇〇、〇〇に保管

|  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 役職名 | 氏名 | 住所 | 自宅電話 | 携帯電話 | 通常時の  通勤時間 | 困難時の  通勤時間 |
| 携帯メールアドレス |
|  |  |  |  |  | 徒歩10分  自転車5分 | 徒歩10分 |
|  |
|  |  |  |  |  | 電車20分 | 徒歩2時間 |
|  |
|  |  |  |  |  | 車10分 | 徒歩1時間 |
|  |

**※あくまでも参考例です。各施設で検討の上、作成してください。**

メールや災害用伝言ダイヤル（171）を利用した連絡方法も確立しておきましょう。

上段に「氏名」、

下段に「連絡先（電話番号）」

を入れてください。

|  |
| --- |
|  |
|  |

|  |
| --- |
|  |
|  |

|  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
|  |  |  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |

|  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
|  |  |  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |

|  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
|  |  |  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |

|  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
|  |  |  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |

|  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
|  |  |  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |

※通信制限がかかる場合は、公衆電話（グレー、緑）を使用する。

※伝言ダイヤル利用方法

　１７１をダイヤルし、音声ガイダンスに沿って、操作すると、電話番号に対し、音声メッセージを録音して預ける（預けられたメッセージを再生して聞く）ことができます。

　（２）関係機関緊急連絡先一覧～職員に配布するほか、事業所内に掲示する。

|  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 区分 | | 担当部署 | 電話番号 | ＦＡＸ番号 | メールアドレス |
| 行政  機関 | 市 | 総務部  防災担当 | 21－3648 | 27－6489 | bousai@city.hakodate.hokkaido.jp |
| 道 | 渡島振興局  〇〇課 |  |  |  |
| 消防 | 〇〇消防署 |  |  |  |
| 警察 | 〇〇警察署 |  |  |  |
| 協力  機関 | ○○自治会 | 会長〇〇 |  |  |  |
| 自主防災組織 | 代表〇〇 |  |  |  |
| 協力医療機関 | ○○病院 |  |  |  |
| 協力福祉施設 | ○○園 |  |  |  |
| 〇〇〇学校 | ○○高校 |  |  |  |
| 〇〇〇会社 | ○○建設 |  |  |  |
| 取引先 | 給食関係 | ○○給食センター |  |  |  |
| 設備関係 | ○○メンテナンス |  |  |  |
| ライフライン | 電気 | ○○電力○○営業所 |  |  |  |
| ガス | ○○ガス○○営業所 |  |  |  |
| 水道 | 市企業局 |  |  |  |
| 電話 | ＮＴＴ〇〇支店 |  |  |  |
| バス、タクシー事業者 | 〇〇バス〇〇営業所 |  |  |  |

**※あくまでも参考例です。各施設で検討の上、作成してください。**

（３）利用者の家族への緊急連絡先一覧

|  |  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 施設利用者 | | | 緊急連絡先（家族等） | | | | その他  （緊急搬送先等） |
| 氏名 | 生年月日 | 住所 | 氏名 | 続柄 | 電話番号 | 住所 |
|  |  |  |  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |  |  |  |

**※あくまでも参考例です。各施設で検討の上、作成してください。**

８　避難を開始する時期、判断基準

　（１）避難開始時期の判断基準

　　　　（例）ア　避難準備・高齢者等避難開始が発令されたら、ただちに避難を開始する。

　　　　　　　　　なお、次の事態の場合は、発令にかかわらず自主避難する。

　　　　　　　　①　大雨警報とともに、施設に近い〇〇川の氾濫注意情報が発表され、台風などの接近が明らかなとき

　　　　　　　　②　近くのがけから水が噴き出したり、樹木が動いたり、斜面の地割れ・膨らみや地鳴りなど異常が見受けられたとき。（市への報告も行う。）

　　　　　　　イ　避難が困難な緊急事態にあっては、屋内の安全確保場所へ避難し、救助要請を行う。

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　など

　（２）通所サービスにおける災害発生のおそれがある場合の対応基準

　（例）　各種警報、特別警報が発表されているときは、サービス提供を中止する。

　　　　　　　　また、〇〇注意報が発表されている場合であって、併せて警報発表の可能性が高いと発表されている場合においても、サービス提供を中止する。

　　　　など

９　避難場所

　（１）市指定避難場所とその他緊急避難場所

|  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
|  | 災害種類 | | 火災 | | 地震 | | 水害 | | 土砂災害 | |
| 経路  １ | 経路  ２ | 経路  １ | 経路  ２ | 経路  １ | 経路  ２ | 経路  １ | 経路  ２ |
| 函館市  指　定 | 避難場所 | |  | |  | |  | |  | |
| 所要時間 | 夏  （夜） |  |  |  |  |  |  |  |  |
| 冬  （夜） |  |  |  |  |  |  |  |  |
| 距　　離 | |  |  |  |  |  |  |  |  |
| 近隣の安全な場　所 | 避難場所 | |  | |  | |  | |  | |
| 所要時間 | 夏  （夜） |  |  |  |  |  |  |  |  |
| 冬  （夜） |  |  |  |  |  |  |  |  |
| 距　　離 | |  |  |  |  |  |  |  |  |

**※あくまでも参考例です。各施設で検討の上、作成してください。**

（２）立ち退き避難が危険な場合の施設内の安全なスペース（屋内安全確保）

|  |  |
| --- | --- |
| 災害種類 | 屋内安全確保の場所 |
| 地震 |  |
| 水害 |  |
| 土砂災害 |  |
| 津波 |  |
|  |  |
|  |  |

**※あくまでも参考例です。各施設で検討の上、作成してください。**

10　避難経路

　（１）施設からの避難経路図（必要な災害種別に複数ルート）

（作成参考例）

要配慮者施設における避難確保計画作成の手引別冊の4ページ

（国土交通省水管理・国土保全局河川環境課水防企画室）

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　など

　（２）施設外活動先からの避難経路図（必要な災害種別に複数ルート）

　（３）送迎時の避難先

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 災害種類 | 市指定避難場所 | 近隣の安全な場所 |
| 地震 |  |  |
| 水害 |  |  |
| 土砂災害 |  |  |
| 津波 |  |  |

**※あくまでも参考例です。各施設で検討の上、作成してください。**

（４）施設（建物）内の避難経路図

※消火器（設備）や避難器具、通報装置、非常用資材の場所も併せて表記する。

11　避難方法

　（１）利用者ごとの避難方法（利用者情報を含む）

|  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 利用者名 | 生年月日 | 血液型 | 服薬 | ADL  認知症  医療情報 | 要介護度  障害程度区分 | 避難先 | 移動手段 | | 担当者 | 注意  事項 |
| 夏 | 冬 |
| ○○○○ | S00.00.00 | ＡＢ型 | ○○○ | Ⅲa | ３ |  | Ａ青 | Ｂ緑 | ○○○○ |  |
|  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |

注：避難先～①指定（その他）避難場所、②病院、③自宅（引き取り協議済）など

　注：移動手段～Ａ単独歩行可能（ビブス青）、Ｂ介助が必要（ビブス緑）、Ｃ車いす（ビブス黄）、Ｄストレッチャーや担架の必要（ビブスなし）など

**※あくまでも参考例です。各施設で検討の上、作成してください。**

　（２）搬送用車輌および乗車割り当て

　　　ア　施設所有車　（病院搬送車）○○○○○○←乗車（利用者名○○○○、･･･）

　（避難場所行き）○○○○○○←乗車（利用者名○○○○、･･･）

　　　イ　車通勤者　　○○○○、○○○○←乗車（利用者名○○○○、･･･）

　　　ウ　地域防災組織協力者　○○○○←乗車（利用者名○○○○、･･･）

　　　エ　搬送協定バス、タクシー会社　○○○○←乗車（利用者名○○○○、･･･）

**※あくまでも参考例です。各施設で検討の上、作成してください。**

12　災害時の人員体制、指揮系統

　（１）役割分担（職員配置）と指揮・命令系統

　　　・　総括責任者　　　　○○○○（不在時の代行者　①××××　②△△△△）

　　　・　情報連絡班　班長　○○○○（不在時の代行者　①××××　②△△△△）

　　　・　消火班　　　班長　○○○○（不在時の代行者　①××××　②△△△△）

　　　・　救護班　　　班長　○○○○（不在時の代行者　①××××　②△△△△）

　　　・　避難誘導班　班長　○○○○（不在時の代行者　①××××　②△△△△）

　　　・　応急物資班　班長　○○○○（不在時の代行者　①××××　②△△△△）

　　　・　地域連携班　班長　○○○○（不在時の代行者　①××××　②△△△△）

　（役割分担表）

|  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- |
| 総括責任者 | 班 | 班長 | 班員 | 任務 |
|  | 情報連絡班 | ○○○○ | △△△△  ※誰がどの情報を把握し、どこに伝達するか定める。 | ・避難行動の指揮統制（総括責任者の指揮による収集情報の各班への伝達と活動の指示）  ・気象や災害の情報収集  ・職員への連絡、職員や職員家族の安否確認  ・関係者、関係機関、協力者との連絡調整  ・利用者家族への連絡  ・避難状況のとりまとめ |
| 消火班 |  | ※誰がどの任務を遂行するか、定める。 | ・火元の点検、ガス漏れの有無を確認  ・発火の防止と発火の際の初期消火 |
| 救護班 |  | ・負傷者の救出および安全な場所への移動  ・応急手当および病院などへの移送 |
| 避難誘導班 |  | ・利用者の安全確認  ・施設、設備の被害状況確認  ・利用者への状況説明  ・利用者の避難誘導  ・利用者を家族へ引き渡し |
| 応急物資班 |  | ・食料、飲料水などの確保  ・炊き出し、飲料水の供給 |
| 地域連携班 |  | ・地域住民、ボランティア団体および近隣の社会福祉施設等への救援要請と活動内容の調整 |

**※あくまでも参考例です。各施設で検討の上、作成してください。**

（２）避難に最低限必要な職員数

　　・　情報連絡班　○○名　（夜間○○名）

・　消火班　　　○○名　（夜間○○名）

・　救護班　　　○○名　（夜間○○名）

　　　・　避難誘導班　○○名　（夜間○○名）

　　　・　応急物資班　○○名　（夜間○○名）

　　　・　地域連携班　○○名　（夜間○○名）

（３）職員の参集基準（配備基準）

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 配備体制 | 配　備　基　準 | 対象職員 |
| 注意配備体制 | ①地域に大雨、大雪、風雪、高潮、洪水注意報が１以上発表されたとき  ②地域に震度３の地震が発生したとき  ③地域に津波注意報が発表されたとき | ・総括責任者は自宅で待機し、　常に出勤できるようにするこ　と |
| 警戒配備体制 | ①地域に大雨、大雪　暴風雪、高潮、洪水警報が１以上発表されたとき  ②地域に震度４または震度５弱の地震が発生したとき  ③地域に津波警報が発表されたとき | ・総括責任者および各班の班長は　施設へ出勤すること  ・その他の職員は、自宅待機 |
| 災害対策体制 | ①地域に相当規模の災害の発生が予測され、その対策を要するとき  ※注意報、警報発令時において、さらに状況の悪化が見込まれるとき  ②避難準備・高齢者等避難開始の発令  ③地域に災害が発生し、その規模および範囲等から早急な対策を要するとき  ④地域に震度５強以上の地震が発生したとき  ⑤地域に津波災害が発生し、または津波災害の発生するおそれがあるとき  ⑥その他、総括責任者が必要と認めるとき | ・総括責任者および各班の班長は　施設へ出勤すること  ・その他の職員は、家族等の安　全が確保され次第出勤するこ　と |

**※あくまでも参考例です。各施設で検討の上、作成してください。**

（４）職員の参集方法

　　ア　災害の発生のおそれがある気象情報（災害危険区域については、警報以上）の発表まで猶予時間があるとき。

・　メール発信にて出勤要請（併せて連絡網で伝達）

・　通常の通勤手段を用いる。夜間は自家用車もしくはタクシー（交通費支給）を利用する。

・　出勤可否をメール返信

　　　イ　災害が発生もしくは発生が予測され、緊急に招集する場合。

　　　　・　メール発信と電話連絡で出勤要請

　　　　・　通常の通勤手段を利用できない場合、徒歩などで安全を確保できる者のみ出勤

　　　　・　出勤可否をメールまたは、電話で返信

ウ　出勤可否連絡方法

　　　速やかに対応可能職員を把握するため、次のとおり連絡文案を定めます。

なお、参集できる、できないにかかわらず、必ず連絡すること。

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 連絡文１ | 〇〇です。  今、△△にいます。  あと、××分で到着します。 | 連絡文２ | 〇〇です。  △△のため参集できません。  ××で待機します。 |

（５）配備体制ごとの活動内容と要員

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 配備体制 | 活動内容 | 対応要員 |
| 注意配備体制 | 気象や災害の情報収集 | 情報連絡班 |
| 警戒配備体制 | 気象や災害の情報収集  避難および誘導に係る資機材の準備  利用者家族への連絡  関係者、関係機関、協力者との連絡調整  施設、設備の被害状況確認、火元の点検・消火 | 情報連絡班  応急物資班、避難誘導班  情報連絡班  情報連絡班  避難誘導班、消火班 |
| 災害対策体制 | （警戒配備体制の業務に加えて）  職員への連絡、職員や職員家族の安否確認  利用者への状況説明  利用者の安全確認・避難誘導・家族へ引き渡し  地域住民、ボランティア団体および近隣の社会福祉施設等への救援要請と活動内容の調整  飲料水、食料の供給 | 情報連絡班  避難誘導班  避難誘導班、救護班、応急物資班  地域連携班  応急物資班 |

**※あくまでも参考例です。各施設で検討の上、作成してください。**

13　停電・断水時の対応

　　※　16備蓄品リストを参照

　　　・照明…自家発電装置を稼働　（備蓄）ポータブル発電機と投光器　ＬＥＤ電池式電灯

　　　・暖房…（備蓄）ポータブルストーブと灯油、毛布などの防寒用品

　　　・水道…（断水が想定される場合）ポリ袋・くみ置き用容器に貯水、浴槽くみ置き

　（備蓄）飲料水

　　　・ガス…（備蓄）保存食料、カセットコンロ対応

　　　・医療機器、ナースコール等の対応用電力…自家発電装置稼働、予備バッテリー対応

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　医療機器会社へ連絡（連絡先○○○○）

・水洗トイレ…浴槽くみ置き水で対応、（備蓄）簡易トイレ、ポリ袋での汚物対応

14　関係機関との連携体制

　（１）地域の防災訓練への参加

　（２）施設の避難訓練へ地域住民が参加する協力関係を構築

　（３）地域の避難計画や消防計画と施設の避難計画を連携したものにする協議関係を確立

　（４）自治会、自主防災組織、近隣のボランティア、学校や企業との災害時協力関係を確立

　（５）他の施設への避難受け入れに関する協定を締結（施設間避難協定）

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　など

15　避難・救出その他必要な訓練および防災教育

　（１）避難訓練計画

　　　　別紙①のとおり

　（２）防災教育の実施

　　　　自然災害に関する知識および非常災害対策計画に関する研修会を開催

　　　　　ア　新規採用職員向け研修～毎年４月

　　　　　イ　全職員向け研修（地域協力者との合同研修）～毎年６月、９月

　　16　食料および避難や誘導に係る非常用資機材の備蓄（リスト）

　　　（１）非常用資機材の備蓄リスト

　　　　別紙②のとおり

　（２）非常用持出備品リスト

　　　　別紙③のとおり

　（３）利用者情報

　　　　11の（１）利用者ごとの避難方法（利用者情報を含む）にて対応

※　利用者情報や６の（３）に記載する家族への緊急連絡先は、個人情報ですので、日常の管理には十分注意してください。なお、既存の利用者リスト等で代用できる場合は、それを活用して差し支えありません。